



●病院理念●

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します

ホームページ <https://hospital.ompu.ac.jp/>

病院ホームページ



2026年1月

vol.81

新春号

発行

大阪医科薬科大学病院



新年のご挨拶



病院長

勝間田 敬弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年7月に、当院の重要な診療機能を担う病院新本館がグランドオープンいたしました。スマートフォン・外来案内システムが導入され、外来の電子表示や携帯電話を介した自動呼出しサービスが機能することで、旧外来棟での待合室の「密」が解消されました。また、再来患者さんの受付をより円滑に進めるため、一階での再

診票の自動発行から各外来での読み取り機による自動受付を開始いたしました。新設された患者サポートエリアでは、患者さんの入院前・入院中・退院後の様々な手続きや情報提供をワンストップで完了することに取り組んでおります。斬新なデザインと無駄のない配置、カフェテリアや絵画のデジタル展示など、ご来院いただく皆様に少しでも心身の休まる快適な時間と空間を提供する工夫がなされていきます。

病院の目指すものは安全で高品質の医療サービスです。人と情報とサービスが常に身近にある「温かい病院」を目指してまいります。本年も、どうぞよろしく願いたします。



看護部長

松本 加奈

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当院は昨年7月、「超スマート医療を推進する大学病院」を基本方針に掲げた病院新本館をグランドオープンいたしました。

新本館では、複数の診療科が連携した臓器別・疾患別センター・外来の開業や、患者さんの待ち時間を大幅に短縮するシステムの導入など、より快適で効率的な医療環境の実現と、温かい病院づくりを目指しています。

看護部におきましては、最新の設備やAI技術の積極的

な活用、スマート医療の実践を通じて、看護師がより患者さんに寄り添う時間を確保し、専門性を発揮できる環境づくりを進めてまいります。

また、一人ひとりの看護師が専門職としての質を高め、患者さんに温かみのある看護を提供できるよう、教育・研修体制のさらなる充実にも努めてまいります。

今年は丙午（ひのえうま）の年です。

古くから馬は人と密接な関わりを持つ縁起のよい動物とされ、「物事がうまく（馬）いく」とや、美しく駆ける姿から「幸運が駆け込んでくる」とも言われています。

本年が皆さまにとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

情報コーナー

膵胆道高度医療センターを開設しました

このたび、当院に「膵胆道高度医療センター」を開設いたしました。

センター長の小倉健と申します。

膵臓や胆道の病気に対する診断や治療は専門性が高く、対応できる医師が限られているのが現状です。こうした状況を踏まえ、当院では、内視鏡による診断・治療を行う内科、手術を担当する外科、IVRや重粒子線治療などを担う放射線科の専門医が一堂に集まり、連携して診療にあたる体制を整えました。

各診療科の専門スタッフが協力して診療を行うことで、患者さんがより安心して治療を受けていただける環境づくりを目指しています。

今後は、さまざまな取り組みを進め、患者さん一人ひとりに寄り添った医療の提供に努めてまいります。

膵胆道高度医療センター センター長 小倉 健



患者サポートエリア～「入院前面談」

病院本館の開院に合わせ、1階に設置した「患者サポートエリア」では、患者さんにワンストップで必要な医療の情報提供や手続きができることを目的に、入院前面談や他院予約、各種相談の窓口を設けております。

今回は、その中の「入院前面談」についてご紹介します。

入院手続きのほか、看護師による事前の面談、お口の健康チェック、栄養状態の確認、お薬の休止に関する説明などを行い、患者さんが安心して入院生活を始められるようサポートしています。

また、退院が難しくなる要因が見つかった場合には、早い段階から各分野のスタッフが連携し、専門のスタッフが解決に向けて支援を行っています。

患者さんやご家族が不安なく当院に入院していただけるよう、診療科や多職種と連携しながら、治療だけでなく療養生活も支えられるよう日々努めています。

気になることやお困りのことがございましたら、専門の相談員が対応いたしますので、どうぞお気軽にお声かけください。



2025 イベント報告

7/28(月)
世界肝炎デー

7月28日の世界肝炎デーにあわせ、より多くの方に肝炎について知っていただくためのイベントを開催し、321名の方にご参加いただきました。

1階ロビーにブースを設け、肝炎に関するクイズを出題。全問正解された方に啓発グッズをお渡しする形式で行いました。正解のヒントを記したポスターも掲示し、参加者全員に啓発グッズをお渡しすることができました。

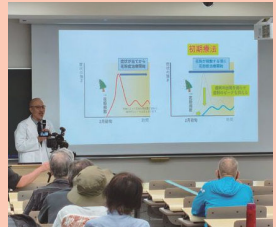


「難しかった」「勉強になった」といった感想も寄せられ、楽しみながら肝炎について学んでいただけるイベントとなりました。

●お問い合わせ：肝疾患センター

8/2(土)
アレルギーについて学ぶ

『スギ花粉症 重症化抑制のための治療レシピ』



国民のおよそ50%がアレルギー性鼻炎をもつといわれる時代です。

今回は「スギ花粉症」をテーマに、市民向け講座を開催しました。単に座学で学んでいただくのではなく、アレルギーセンターの医師・看護師・患者役をそれぞれ職員が演じ、診療の現場を再現しました。演技の完成度はさておき(笑)、シナリオに沿って診療の流れを見ていただいた後に講演を行う形式は、市民の皆さんにも分かりやすいと好評でした。

次回は2026年夏開催予定です。

9/17(水)
世界患者安全の日

9月17日は、WHO(世界保健機関)が定める「世界患者安全の日」です。

今年のテーマは「すべてのこどもに安全なケアを」でした。

当院では9月15日～20日を「世界患者安全週間」とし、テーマカラーであるオレンジ色の花を正面玄関に飾りました。9月17日には、職員全員がオレンジ色の医療用マスクを着用し、「安全な医療」への意識を高めました。



さらに9月26日には、医療安全研修会を開催し、大分こども病院の久我修二院長を講師にお迎えして、「医療安全から考える処置時の鎮静・鎮痛」をテーマにご講演いただきました。より安心・安全な医療提供に向けた学びを深めました。

●お問い合わせ：医療安全推進室

10/18(土)
公開市民セミナー
「肝細胞がん」

肝疾患センターでは、年に1回、公開セミナーを開催しています。

今年度は10月18日(土)に「肝細胞がん」をテーマに実施しました。

肝疾患センターの朝井センター長が内科的治療について、一般・消化器・小児外科の川口医師が外科的治療について講演しました。

参加された方からは、「さまざまな治療法があることがわかり希望ももてた」「生活習慣に気をつけたい」などの感想が寄せられ、肝疾患に関する新しい知識を深めていただく機会となりました。



今後の開催情報は、当院ホームページでもご案内していますので、ぜひご覧ください。

●お問い合わせ：肝疾患センター

10/18(土)
がん患者サロン
「ひだまり」

がん相談支援センターでは、4・6・8・10・12月に、がん患者サロン「ひだまり」を開催しました。

実施月ごとに、病気や治療、治療中の過ごし方、エクササイズなど、さまざまなテーマで講演を行い、その後、がん患者さんやご家族が互いの病気や治療の悩みなどを語り合う交流会を実施しました。

10月は「椅子に座ったままできるやさしいヨガ」を開催しました。



「ひだまり」は年間を通して2か月ごとに全6回開催しています。次回は2月に開催予定です。

●お問い合わせ：がん相談支援センター

10/26(日)
院内コンサート大阪医科薬科大学
グリークラブ・管弦楽部 共催

10月26日(日)、大阪医科薬科大学学生による院内コンサートを開催しました。



管弦楽部は「Another Day of Sun」など全5曲を、グリークラブは合唱組曲「筑後川」より「河口」など全4曲を披露し、最後にはご来場の皆さまとともに「ふるさと」を合唱しました。

患者さんやご家族、職員など多くの方が来場され、温かい拍手で会場が包まれました。音楽を通して患者さんの笑顔に触れることができ、学生にとっても心に残る貴重な時間となりました。



ON OFF COLUMN オンとオフ プロフェッショナルの素顔 vol.3

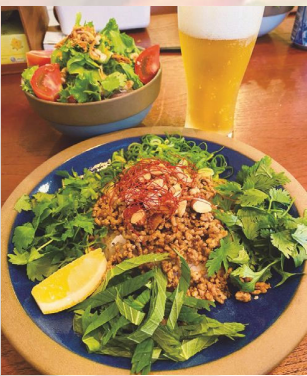


**化学療法センター
センター長 山口敏史**
2024年からセンター長として、
チームとともにがん治療に取り組
組んでいる

初めまして。
化学療法センターの山口敏史です。
着任当初は慣れないことも多く、戸惑う
ことばかりでしたが、看護師や薬剤師、事務の皆さん、そして後輩たちに支えられながら、気づ
けば2年が経とうとしています。

今回、原稿執筆にあたり、ふと「この2年間、“オフ”があったかな?」と思い、スマートフォンの
写真フォルダを開いてみました。

出てきたのは、ほとんどが料理の写真。どうやら、私にとっての“オフ”は台所にあるよう
です。最近のマイブームは、スパイスカレーとフレンチ料理です。



旅先で出会ったキーマカレー

まずはスパイスカレー。シンプルなチキンカレーも好きで
すが、最近はハーブをたっぷり使ったキーマカレーに夢中です。
以前、旅先の鎌倉で出会ったハーブの香り豊かなキーマカ
レーに感動しました。カレーのまわりに大葉やコリアンダー、
三つ葉、ネギをぐるりと盛りつけ、混ぜながらいただく香り
が立って最高です。ビールとの相性も抜群です。

一方、フレンチは“家事の達人”として知られる料理家のレ
シビ本を参考に料理を楽しんでいます。特別な材料を使わず、
冷蔵庫にある食材で手軽にフレンチが作れるのに、驚くほど
おいしい。思わず「これはお店を出せるのでは?」と錯覚して
しまうほどの仕上がります。



写真上段左から「お家うなぎ定食」、「鯛のアクアパッツァ」
下段「バリエアと私」。料理は全て手製。

さて、私の専門である腫瘍内科では、さまざま
な抗がん剤を駆使してがん治療に取り組んでいま
す。しかし、これらの薬は「誰かが作ってくれた
もの」です。

学生の頃は宮大工や建築士など、形のあるもの
を作る仕事に憧れていたもので、「内科医は何も作
らないな…」と感じることもありました。

そんな私にとって料理は、材料を選び、組み合
わせ、形にして、そして誰かに食べてもらう一ま
さにクリエイティブの原点です。日常の慌ただし
さを忘れ、“作る喜び”を思い出させてくれる、大
切な「オフの時間」でもあります。

いつか引退したら、南の島でのんびりと暮らし
ながら、ゆっくり料理を楽しむのもいいですね。
この原稿を書きながら、久しぶりに料理をしたく
なりました。

次の休日は、そろそろ旬を迎える菜の花を使っ
てパスタでも作ってみようと思います。

| ON オン | OFF オフ |
|---------------|---------------------------------|
| 7:00 起床 | 7:00 起床 |
| 7:30 朝食 | 8:00 朝食 |
| 8:00 出勤 | 9:00 買い出し・仕込み |
| 8:30 仕事 | 12:00 昼食 |
| | 13:00 料理 |
| | 18:00 夕食 |
| 17:00 研究・自己研鑽 | 19:00 家事 |
| 22:15 帰宅 | 20:00 趣味(料理をSNSで アップロード、テレビ) |
| 22:30 夕食 | 23:00 就寝 |
| 23:30 就寝 | |



ちょっと気になる話

フレイルについて～後編～
キーワードは「くう ねる あそぶ」～予防と改善～
リハビリテーション科 科長 佐浦 隆一

病院ニュースvol.79では「フレイルについて」および「フレイルの特徴や症状」についてご紹
介しました。

今回は後編として、**フレイルの予防と改善方法**について学びましょう。

フレイル(加齢に伴い筋力や活動量が低下し、心身の活力が衰えた状態)は、早めに気づくこ
とが大切です。まずは、次の表でご自身のフレイルの状態をチェックしてみましょう。

| | 項目 | 評価基準 (改定日本版フレイル基準) | 回答 |
|---|------|--|--------|
| 1 | 体重減少 | 6か月で2kg以上 (意図しない) 体重が減少した | はい・いいえ |
| 2 | 筋力低下 | 標準握力以下である 握力: 男性<28kg、女性<18kg | はい・いいえ |
| 3 | 疲労感 | (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする | はい・いいえ |
| 4 | 歩行速度 | 横断歩道は青点灯時間にわたりきれない 通常歩行速度<1.0m/秒 | はい・いいえ |
| 5 | 身体活動 | 軽い運動・体操、および定期的な運動・スポーツの いずれも週に1回も行っていない | はい・いいえ |

「はい」が3項目以上…フレイル
「はい」が1～2項目…フレイル予備軍
「はい」が0項目…健康

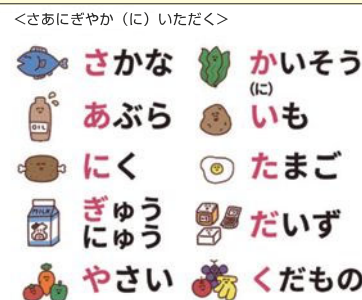
いかがでしたか。フレイルチェックで「フレ
イル」または「フレイル予備軍」と診断されたあ
なた。安心してください。

1998年に流行した自動車のCMをご存じで
しょうか。

「くう ねる あそぶ」というキャッチコピーが
話題になりましたが、実はこれ、フレイル予防・
改善のための大切なキーワードでもあります。
「よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ」という理想
のライフスタイルを端的に表現しているのです。

フレイルは「栄養」「身体活動」「社会参加」の3
つの柱をバランスよく実践することで改善で
きます。

具体的には、**たんばく質などを意識したバランスの取れた食事を摂り、ウォーキングや筋トレな
どの適度な運動を継続し、趣味やボランティア活動などで人との交流を増やす**ことが重要です。



参考文献:厚生労働省、東京都福祉局、介護コネク、
東京都健康長寿医療センター研究所、
ロコモチャレンジ! 推進協議会

栄養

食事の改善

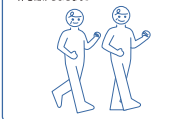
食事は活力の源です。バランス
のとれた食事を3食しっかり
とりましょう。また、お口の
健康(口腔ケア)にも
気を配りましょう。



フレイル 予防

身体活動

ウォーキング・ストレッチなど
身体活動は基礎の増進だけでなく食欲や
心の健康にも影響します。今より10分多く
体を動かしましょう。



社会参加

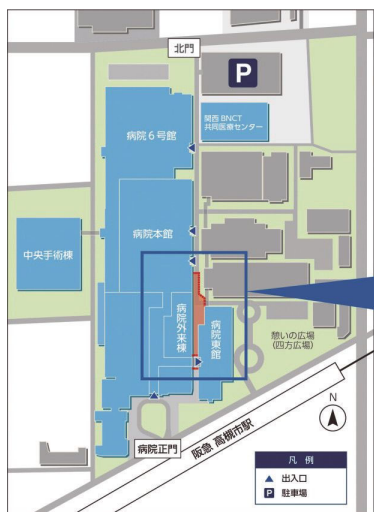
趣味・ボランティア・就労など
趣味やボランティアなどで外出することは
フレイル予防に有効です。自分に合った活
動を見つけましょう。



お知らせ

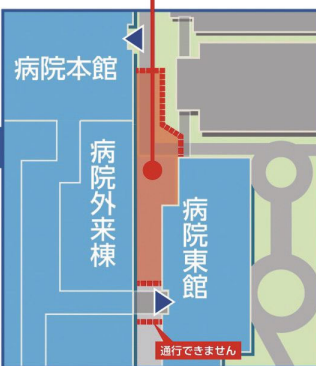
病院本館・東館 連絡通路建設工事実施に伴う構内の通行制限について

利便性向上のため、現在、病院本館と病院東館(旧7号館)をつなぐ連絡通路の建設工
事を行っています。工事期間中は、下図のとおり**病院外来棟と病院東館の間の通路は
ご通行いただけません**。ご不便をおかけいたしますが、皆さまのご理解とご協力をお願い
いたします。



2025年8月4日～
2026年11月頃(予定)

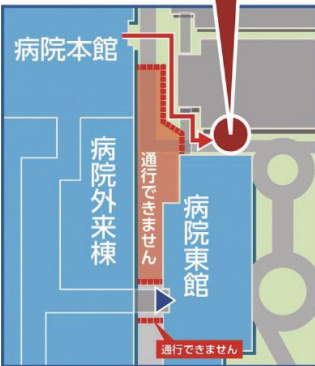
通行できません



シャトルバス 乗り場について

シャトルバス
乗り場は**病院
本館の東出入
口**からお越し
ください。

のりば
(乗降場所)



会計の待ち時間をゼロに!

**待たずに
ラクへだ**

支払いを待たずに帰宅!
医療費あと払いクレジットサービス

当院では、診察後のお会計の待ち時間を短くするために、**医療
費あと払いサービス「待たずにラクへだ」**を導入しています。
このサービスを利用すると、診察(※)が終わったあと計算書を
「計算受付後払い専用窓口」に提出し、支払いを待たずにお帰
りいただけます。

お支払いは、後日クレジットカードで自動的に決済されるしく
みです。

※入院の場合:請求書をお受け取り後、すぐに帰宅。

ご利用には事前の登録が必要です。

【ご用意いただくもの】
* 当院の診察券
* クレジットカード情報
* メールアドレス

上記をお手元にご用意のうえ、
右記の二次元コード(QRコード)から登録してください。
登録が完了すると、すぐにご利用いただけます。



ぜひご登録いただき、「会計を待たずにラクに帰れるサービス」
をご利用ください。

ご不明な点がございましたら、本館正面玄関前通路の「医療費あと
払いクレジットサービス相談窓口」までお気軽におたずねくだ
さい。

FREE Wi-Fi



SSID: ompu-wifi
PASS: 56986865
利用可能時間 6:00～22:00

開院日・休診日のお知らせ

開院日 | ・2026年9月21日(月・祝)
・2027年1月11日(月・祝)

※シャトルバス(JR高槻駅⇄本院)は通常どおり運行いたします。

休診日 | ・2026年 5月30日(土)
・2026年 8月29日(土)
・2026年10月31日(土)
・2027年 1月30日(土)

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。